

No.23

2026

3月6日号

高崎市PTA連合会広報紙

たかさき倶楽部

Parent Teacher Association

子どもたちの成長を
ともに見守り ともに喜ぶ



会長
小澤 由宏
箕輪小学校

「地域の子は地域で育てる」、「ともに見守り、ともに喜ぶ」。多くの保護者の皆さんや学校の先生方、地域で力を貸してくださる皆さんとPTA活動を推進する中で、私たちの想いをお伝えするために発信してきたキーワードです。そしてその想いの根幹を共有していただくために、「PTA活動を子育ての延長として捉え、力を合わせて一緒に子育てしませんか」ということを、この2年間の活動の軸として発信してまいりました。様々な環境の変化に伴い、それに対応した組織や活動内容の変革が必要とされてはいますが、PTA活動の理念は普遍です。小学校に入学したばかりの我が子が、大きなランドセルを背負って通学路の路地を曲がるまで見守ったあの時の気持ちで、地域の子どもたちみんなが笑顔で中学校を卒業してくる日まで、限られた数年間ではありますが、一緒に子育てするようなPTA活動が各地で展開されるよう、一緒に歩いていきましょう。

2026 Spring

高崎市PTA連合会は、市内84校ある小・中・特別支援学校のPTAが集まって情報交換や相談事などを通して連携を深め、それぞれの活動をサポートしています。

今年度の広報紙「たかさき倶楽部」では、ブロック推進事業AWARDで大賞を受賞した乗附小学校の文化事業と、充実した4つの委員会の活動内容についてご紹介します。

ブロック推進事業AWARD

今年度はブロック推進事業AWARDを実施しました。本AWARDは、ブロック推進事業に応募いただいた中で特に優れた取組を表彰し、その成果を広く共有・波及させることを目的としています。優れた事例の表彰を通じて、PTA活動の質的向上と保護者・地域の意欲喚起を図ります。

乗附小学校PTA AWARD大賞を受賞



PTA 文化事業「秋の音楽会」

2025.11.18(火)

PTA は子どもたちの健全育成のためにという

基本精神に基づき、演劇の観覧型から子どもたちの参加型へと企画しました。オペラを主体とした音楽を子どもたちは一緒に作り上げた仲間同士の絆や、自己表現の場を「楽しかった!」や「またやってみたい!」という大きな反響をいただきました。

また、企画面においては何度も打ち合わせを重ね、そして事前レッスンも実現し、プロの演奏者の皆様に全面的にバックアップをいただき、素晴らしい会となりました。「子どもたちのために何ができるか?」を考えてプログラムを構成できますので、学校の規模や時間等オリジナルの音楽会を是非とも我が学校でも!とご興味のある皆様には私どもにお声がけください!

乗附小学校 PTA 会長 遠藤 行吾



秋の音楽会では、オペラ歌手の迫力ある声やマリンバやフルートなどの美しい響きに子どもたちは感動していました。事前のレッスンもあり、自分たちの番もあり、音楽の楽しさを実感できた貴重な時間でした。再び体験したいという声が多く、心に残る一日となりました。

乗附小学校 校長 白井 輝



単Pサポート室

一緒に課題を解決していきましょう!

現在、PTAの在り方が問われる中、私たちPTA連合会は、子どもたちの健全育成を目的に、各PTA会長をどのように支えられるかを考えてまいりました。会長方の疑問や課題を共有し、専門家を交えた座談会や事業支援の仕組みを構築できたことは、一定の成果であったと感じています。今後も多くのつながりを大切に、子どもたちがワクワクできる環境づくりを、皆さまと共に進めていきたいと思ひます。一年間、温かいご協力をありがとうございました。



保護者でつくる保護者のための座談会を開催

第1回会長会議でのグループワークで、各学校の課題や情報を共有し、その中からテーマを設定しました。テーマに沿った講師を各グループに招き、ディスカッションを実施。対話を通じて、子育てや学校運営の課題解決につながる具体的なヒントを得る事業となりました。



フリースクール・不登校について

教育NPO法人代表の市村均光様より、「子どもを支えきれていないのは、誰のせいでもない。だからこそ、出来る人が出来ることをやっていくことが重要である。」ということをお話いただきました。



地域とPTAの連携について

元中央小学校PTA会長の林様より、「少し先を見据え、地域・教育現場・子ども(保護者)の繋がる場を作ることが大切」ということを教えてくださいました。



子どものキャリアアップについて

キャリアコンサルタントの柳田陽子様より、「キャリアとは何?」ということから、「地道に日々、子どもたちとの時間を取っていくことで、キャリア力が培われる。」ということをお話いただきました。



先生との意見交換の場

インクルーシブ教育モデル校の玉村町立上陽小学校の増田校長先生より、「全ての子どもが分け隔てなく、同じ環境で共に学びあうことの大切さ」を学びました。

小規模校PTAの情報交換会

鼻高小学校の山岡会長からの「ブロックを超えて、同規模校の運営状況を知りたい。情報交換をしたい」という声の下、小規模校の10校が集まり、PTA運営についての情報交換会を開催しました。

少子化における運営方法の難しさや、小規模校だからこそ保護者同士が手を繋いで協力し合う必要性があることなどについて情報交換を行い、とても有意義な時間となりました。

市P連では、引き続きこういった各PTA会長の方々からの意見を吸い上げ、情報交換の場を設定していきたいと思ひます。ご希望の各PTA会長の方は是非、声をお寄せください。



鼻高小学校
山岡会長



城南小学校
平山会長



城山小学校
天田会長



宮沢小学校
高橋会長



南八幡小学校
大久保会長



高松中学校
林会長



倉賀野小学校
佐藤会長

【市P連本部より】

馬庭小学校/阿藤
倉瀬小学校/岩津
新高尾小学校/藤生

各校のPTA活動が他校の活動の助けになります。10校でアドバイスしあえた貴重な時間となりました。

副会長
上原 正行
佐野小学校

常任理事
藤生 雅美
新高尾小学校

常任理事
松本 武志
八幡中学校



家庭教育委員会

健全な子育ては自らの心の健康から

将来、無限の可能性を持った子どもたちの近くにいる大人が、自分のことで精一杯で健全な生活を送れていなければ、PTAの本来の目的である「子どもたちの健全育成」を達成できませんか。

しかし様々な問題が勃発する世の中で、全てを子どもにささげ、課題を簡単に解決できる人はそうはいません。

しかし、自らが選んだ伴侶とともに授かった命をこの世に生み出した親、教育者として次世代を育成しようと覚悟を持って教鞭を執った先生。そこには子どもたちに一番に向かい合う責任があります。

その責任のためにも自分ひとりで悩まず豊かな心で過ごすことが大切だと考えます。PTAとして同じ立場の仲間同士で様々な困難を共有し、寄り添い、健全な子育てができる様、一人で抱え込まず、楽しく共有できるような事業を行ってまいりました。

自分もまだまだ未熟で至らない点が多々ありましたが、副委員長の内田君に支えられながら無事一年を終えることができましたことに感謝致します。

副会長 飯野 陽彦 榛名中学校	常任理事 内田 翔 東小学校
-----------------------	----------------------



研究大会実行委員会

ともに学び ともに育む

私たちの子育て環境は、時代の変遷とともに大きく変わってきています。その中でも保護者や教育関係者の働き方の変化により「子どもと親」「子どもと指導者」の会話時間の減少は著しいものがあります。そのような中で、私たち大人にいま求められているのは、限られた時間をいかに「丁寧に」子どもたちと向き合い過ごすことだと感じています。

子どもたちは、毎日の学校生活、家庭生活、社会生活の中で一生懸命に悩み、笑い、そして多くを力いっぱい学ぼうとしています。その精一杯の頑張りに応えるために、私たち大人も「学び続けること」は必要です。だからこそこの研究大会を開催する意義は、多くの方に足を運んでいただき、それぞれの子育てを顧みながら学び合うことができるようなものにしていかなければいけないと強く感じています。

それはこの研究大会だけではなく、いま、PTAもその活動の意義を問われています。

その中で大切なのは、「私たちが何のために活動をしているか」という事を、何度も見直すことだと思います。いま私たちがしようとする活動のすべての先に「健やかに育つ子どもの姿」があるかどうか、ぜひ立ち止まって考えてみてはいかがでしょうか。これからも高崎市PTA連合会として様々な声を聴き、各学校のPTAの皆様とともに悩み、ともに子どもの成長を喜ぶ「伴走者」としてこれからも活動を続けてまいります。

副会長 大河原 隆行 城山小学校	副会長 伊藤 昭博 箕郷中学校	常任理事 朝比奈 信昭 塚沢小学校	常任理事 阿藤 賢一郎 馬庭小学校
------------------------	-----------------------	-------------------------	-------------------------



情報委員会

子どもと大人に「安心」を届けるための新しいホームページを制作しました

安心できる 子どもの居場所をつくる・守る

「安心」は目には見えませんが、確かに感じることができます。「安心できる居場所」があると、自信や勇気をもって、冒険や挑戦をすることができます。たとえ失敗しても、「経験になるだけ」と思えるようになります。新しいホームページが、そんな「安心」につながる場所になればと願っています。子どもを真ん中にして、大人どうしが手をつなぎやすくなる場。高崎市PTA連合会が高崎の「子育てのHUB」となり、大人たちの「子どもを支えたい・守りたい」という想いや、今すでにある取り組みをつなげていく「つなぎ役」になればと考えています。

子どもと大人に『安心』を届け、広げていく『子育てのインフラ』

子育てに悩んだとき、PTA運営で困ったとき、このホームページで「安心」を感じたら、大人の心に余裕が生まれ、「子どもの声を聴こう」という姿勢を生み出します。そうすることで子どもが「安心」を感じる。「安心」が家庭や学校・地域に広がり、子どもたちが「ここに、いい」「ここに帰ってくれば大丈夫」と思える居場所ができる。そんな状態を、少しずつでもつくっていききたい。

このホームページは、「子どもと大人に、安心をめぐらせたい」という想いに共鳴した、たくさんの大人たちの手で、少しずつカタチにできました。日々PTA活動を続けてくださっている保護者の皆さま、子どもたちと向き合う先生方、そばで見守ってくださる地域の皆さま。皆さまの一つひとつの想いと行動が、このプロジェクトの「はじまり」になりました。心から感謝いたします。

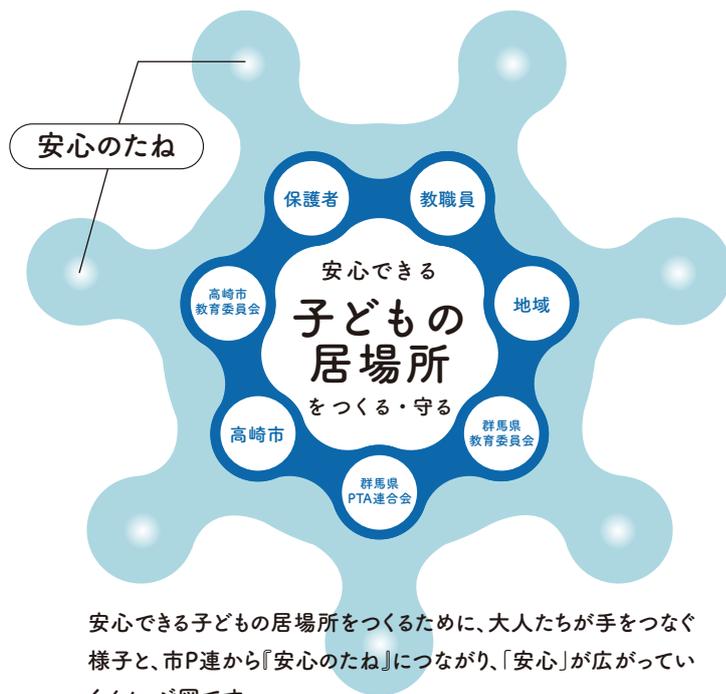
関わってくださった方のお名前は、ホームページ内でご紹介します。

副会長
岩津 志保
倉渕小学校

副会長
山口 もも
倉賀野小学校

常任理事
品川 正和
新町第二小学校

子育てのHUB



安心できる子どもの居場所をつくるために、大人たちが手をつなぐ様子と、市P連から『安心のたね』につながり、「安心」が広がっていくイメージ図です。

『安心のたね』とは

誰かの子育て体験談や、「うちはこうしてみたよ」という工夫、専門家の一言、支援につながる団体の情報…。高崎市PTA連合会ではそれを『安心のたね』と名付け、ホームページからつながるように設計しました。

『安心のたね』には2つの意味があります。

1つは、植物の種。



「安心」という花が咲いていきますようにという願い。

もう1つは、種火のたね。



かすかでもいいから、「安心」の火を絶やさずに灯しておきたい。そんな想いを込めています。

高崎市PTA連合会のホームページは
スマホの中にある
いつでも戻って来られる
お守りのような場所です。



令和7年度 高崎市PTA連合会本部役員



監事
佐藤 怜史
榛名中学校

監事
佐藤 心憧
佐野中学校

顧問
山崎 吉郎
高南中学校

顧問
田邊 郁也
中央小学校

高崎市PTA連合会

市P連のホームページ・Facebookでは、各PTAのさまざまな活動の取り組みを紹介しています。ぜひ、ご覧ください。また、ホームページへの掲載を希望するPTAも随時募集しています。

お問い合わせ／市P連事務局
jimukyoku@takasaki-pta-net.com



ホームページ



Facebook